

No.3

図書館だより

尚志高校図書館 H, 25、9、4



いよいよ読書の秋、到来です。読書は、脳機能を活性化する働きがあるそうです。文字を読むために視覚・文字の理解の領域が、内容を理解するために記憶・経験から状況をイメージする領域が、そして感情の領域など脳全体をフルに使っているそうです。楽しく読書しているだけで、脳トレできているということ。勉強もはかどることでしょう。

9月からパソコンでの貸し出しに移行します！

パソコンの使用環境が整いましたので、生徒証（生徒番号が入っています）と本に付いているバーコードによる貸し出しに切り替わります。出来るだけ生徒証を持参して下さい。貸し出し手続きが簡単に済みます。

個人カードでの貸し出しは中止しますので、夏休み前に借りたままになっている人は、督促状を渡しますので、必ず早急に返却して下さい。

希望図書アンケートの結果について！

7月初旬に、各クラス図書委員を通じて行いました希望図書アンケートから新しく購入を決めた書籍・雑誌を載せますので、是非利用しに来て下さい。希望に応えられないものは、要望の多かったものに関して、その理由を載せておきます。

*** 雑誌 *** 利用状況を見て変更することもあります！

○ファッション系、音楽系の雑誌がほしい→「ノンノ」に変えて「セブンティーン」を男子用に「スマート」を、ほかに「ミュージック・マガジン」を試験的に入れます。

*** 小説 *** **意見・要望はいつでも図書室までお願いします！**

○ 携帯小説・ボカロ小説を入れてほしい→図書室向きではないと思われます。

○ ライト・ノベルを入れてほしい→内容が玉石混交なので、選定が難しいですね。

今回は、「半分の月がのぼる空」と「蒼空時雨」を入れます。

〈新刊案内〉

夏休み期間に入った本です。カウンターの上にありますので、見てください。

「ごちそうさまを英語で言えますか？」

デイビット・セイン著 アスコム
・毎日の生活でよく使う言葉、英語で表現するとどうなるの？

「オーダーは探偵に」

近江 泉美 著 デイア・ワークス
・就職活動に疲れた女子大生が、ふと迷い込んだ喫茶店。そこにはどじなウェイトレスと、美形でDの高校生探偵がいた。今日も謎解きを必要とする人が訪れる・・・

「聖なる怠け者の冒険」

森見 登美彦 著 朝日新聞社
・いまだかつて、これほど動かない主人公がいたろうか。正義の味方「ぼんぼこ仮面」の後継者として指名された小和田君の不思議なことだらけの宵山の日。

「遠野物語 r e m i x」

京極 夏彦×柳田 國男 著 角川学芸出版
・この物語は百年を経て色褪せることはない。いまだかつてない“遠野物語”戦慄の怪異譚。

「また次の春へ」

重松 清 著 扶桑社
・厄災で断ち切られたもの。喪失の悲しみと再生への祈りを描く、七つの小さな物語。

「ランチのアッコちゃん」

柚木 麻子 著 双葉社
・挫折を知る女子、負け組女子大歓迎！読むほどに不思議と元気が湧く、新感覚ビタミン小説！！

● 高校生の読書アンケートについて ●

9月末に「高校生の読書アンケート」を行いたいと思いますので、全校生徒の皆さん各クラスの図書委員さん、協力お願いします。

